

ステップルームティーチャー

SRTを配置しました

様々な要因で教室に入ることができず、教室以外の別室（ステップルーム等）に登校する児童生徒に対して支援を行う専任の支援員として「ステップルームティーチャー（SRT）」を配置しました。（令和5年度配置校：宮崎小、小倉小、花園中、草野中）

教室に入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できるように、様々な支援を行っています。

ステップルームティーチャー SRT ってどんな先生？

1 継続的な学習支援

- 児童生徒に応じた継続的な学習計画をもとに、学力の向上を目指します。
- 学習面に対する不安感の軽減を目指します。

2 きめ細かな相談支援

- 児童生徒の観察を通して、心や体調の変化に気付くことができます。
- 養護教諭やスクールカウンセラー等と連携し、きめ細かな相談支援を行います。

ステップルームティーチャーから皆さんへ



お子さんの変化を見守りながら、心の成長を大切にしていきます。



お子さん一人ひとりに寄り添った支援を心掛けています。

皆さんのペースで登校できます。いつでもお待ちしております。



皆さんの願いが叶うように、一生懸命支援していきます。



不登校対策パッケージ

市では、よりよい不登校児童生徒支援に向けた教育相談事業の整備と拡充を目指し、右のように取り組んでいます。

- 教育支援センター「ライトポート」の機能拡充
- スクールカウンセラーの機能強化
- 教職員への啓発と研修の充実
- ステップルームティーチャーによる登校支援
- 教育センターの相談機能拡充
- フリースクール等との連携強化

問い合わせ 教育支援課 TEL 043-245-5935 / 教育センター TEL 043-255-3702

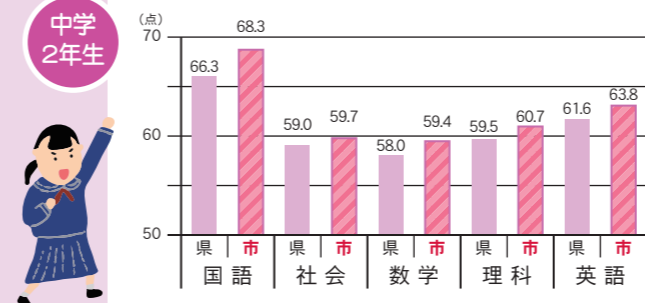
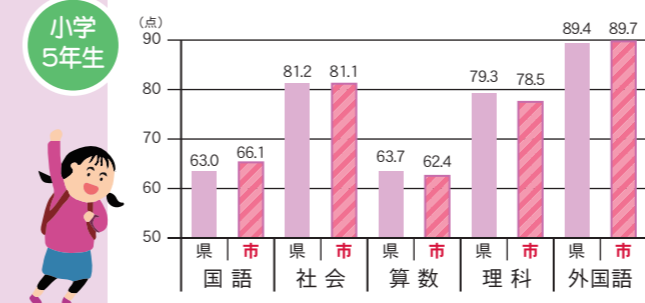
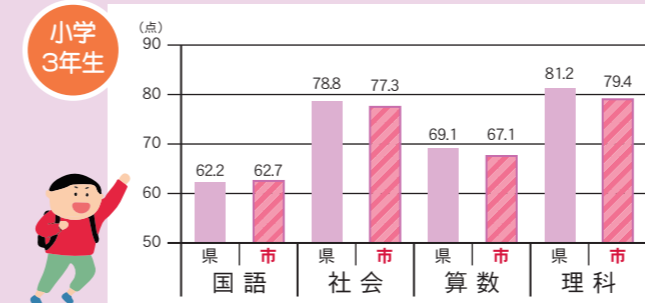
確かな学力を育てるために 令和4年度千葉市学力状況調査・意識調査の結果から

本市では、『夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども』を目指すべき子どもの姿と捉え、確かな学力の育成に向けた「わかる授業」を推進しています。その一環として、毎年小学3・5年生、中学2年生を対象に、千葉市学力状況調査・意識調査を実施し、結果を分析して、日々の学習指導の改善に生かしています。今回は、令和4年度調査結果から一部をご紹介します。

1. 学力状況調査

小学3・5年生、中学2年生の学力習得状況

中学2年生は全教科において県平均を上回りました。小学3年生は国語、小学5年生は国語と外国語において、県平均を上回る結果となりました。子どもたちが各教科の勉強をさらに好きになり、主体的に学習に取り組めるよう、これまで以上に「わかる授業」を推進していきます。



各学校ではこのように取り組みます

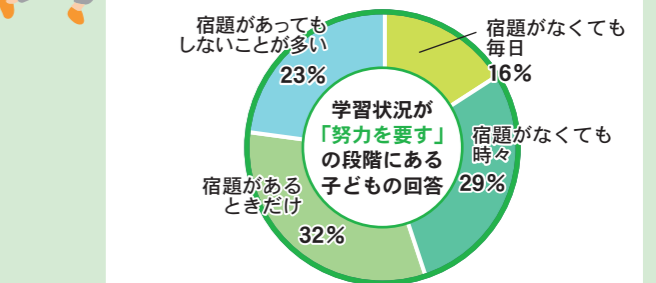
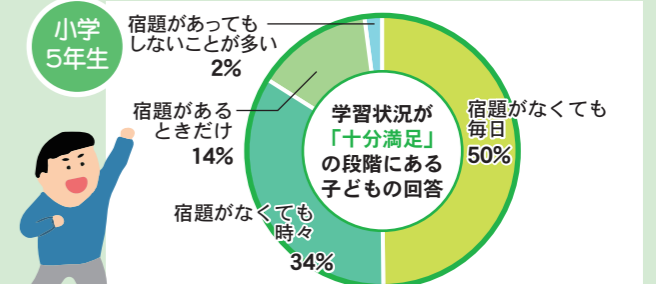
- 各学校の「学力向上アクションプラン」に基づき、「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感できる授業を目指して、更なる指導の工夫・改善を図っていきます。
- ギガタブ（タブレットPC）を効果的に活用しつつ、子どもの思考力・判断力・表現力等を育むために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいきます。

2. 家庭生活に関する意識調査

家庭学習の頻度と学力の関連

学習状況が「十分満足」の段階にある子どもは「宿題がなくともほとんど毎日学習をする」割合が最も多く、小学5年生では5割になります。毎日学習することの大切さを子どもが実感できるよう、学校と家庭で連携を図りながら、子どもが自ら進んで学習に取り組む習慣を身に付けていく必要があります。

質問 あなたの家庭学習の様子は、次のうちどれですか。



※小学3年生、中学2年生についても、同様の傾向が見られます。



家庭での生活を振り返ってみましょう

- 家庭での学習の様子と正答率については相関関係が見られます。家庭学習の頻度が低い児童生徒は、授業の復習を兼ねて宿題に取り組むことも大切です。その他にも、興味のあることについて、ギガタブなどのICT機器を使って深く調べたり、苦手な教科の教科書やノートをもう一度読み返したりするなど、毎日無理なく続けられるような取組みを家庭で話し合ってみましょう。
- 学習状況が「十分満足」の段階にある子どもは「家族からよくほめられる」と答える割合が高い傾向が見られます。子どもの自主性を大切にしながら見守り、チャレンジした際には十分認めたりほめたりすることが大切です。

問い合わせ 教育センター TEL 043-285-0900 / 教育指導課 TEL 043-245-5986